

1	正負の数：正負の数 符号のついた数、 数の大小	年 組 番 名前	/ 24 問
---	--	-----------------	--------

知 ①符号のついた数

+3 や +5 のような数を正の数といい、-2 や -0.5 のように **負** の符号のついた数を **負の数** という。

温度が0℃より10℃高いときは、+10℃と表す。0℃より10℃低いときは **-10**℃と表し、「**マイナス** 10℃」と読む。

整数には、正の整数、0、**負の整数** があり、正の整数を **自然数** ともいう。

②数の大小

数直線の右の方向を **正の方向** といい、数直線上で右にある数ほど **大きい** といえる。また、数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離をその数の **絶対値** という。

図 1 次の数量を、+、- の符号のついた数で表しなさい。

(1) ある山の標高(海面からの高さ)は2568mです。この山の標高を基準として、高い場合を+、低い場合を-で表すことにしました。このときのA山(標高2077m)の高さ。

● $2568 - 2077 = 491$ より、491m低いので、**-491**)m

(2) 学校の正門から北へ100m移動することを+100mと表すとき、学校の正門から南へ200m移動すること。

●北と南は向きが反対なので、北へ移動することを正の数(+)を (**-200**)m 使って表すと、南へ移動することは、負の数を使って表すことができる。よって、-200m。

(3) 海面から5mの高さを+5mと表すとき、海面から2mの深さ。

●深さは、海面からの高さとは反対だから、負の数を使って表すこ (**-2**)m とができる。よって、-2m。

